



本康歯科ニュース



「世界中のどの歯医者に行くよりも、この歯医者に来て良かった！！」と思ってもらえる歯科医院めざして！

歯からあごの骨再生

ある大病院歯科口腔外科のグループが、抜いた歯の神経から骨のもとになる幹細胞を取り出して培養し、歯周病などでなくなったあごの骨を再生させる世界初の技術の実用化に乗り出しました。インプラント（人工歯根）手術などでの、患者の身体への負担を軽減できるとの事。臨床研究の開始が決まり、患者を募集。

インプラントの土台になる骨は、歯周病や虫歯などで欠損している場合、本人の腰の骨を切り取って移植したり、セラミックなどの人工材料を使ったりしている。負担が大きく治療をあきらめる人も多いが、この技術を使えば、身体への負担軽減に加えて、骨の再生まで約三ヶ月と短時間で治療できる。

まず、患者の歯をベンチャー企業などが開設している国内の細胞加工施設に送り、歯の幹細胞を培養。その幹細胞を血小板と混ぜて患部に注入し、骨の再生につなげる。大病院歯科口腔外科は一～二年後をめどに、他の病院やクリニックにもノウハウを広げることを目指す。治療は自費診療となる見込みで、費用は検討中。

インプラント以外にも治療が広がる可能性がある。生まれつきあごの骨に欠損がある「顎裂」の子供たちは、移植のために全身麻酔で腰の骨を取っていたが、乳歯の幹細胞から骨を作れるようになる。がんなどであごの骨をなくした場合も、部分的な欠損なら再生が期待できる。

負担の少ない治療で、質の高い骨ができる。多くの患者さんに、よりよい医療の普及が期待できると。臨床研究に選ばれた患者は、インプラント治療などについては自己負担になるとのこと。インプラント治療をするために健康な歯の神経を取るというデメリットもありますが、日々歯科医療も進歩しているんですね。これが巷の歯科医院でできるようになるといいですね。

お伝え
します！

今、知っておきたい

歯科ニュース



「夢のような薬“歯生え薬”がついに誕生！？」

薬を飲むと歯が生えてくる！？ そんな夢のような**世界初の薬**が、京都大学発のスタートアップ企業「トレジェムバイオファーマ」で開発中です。実は、人間の歯は永久歯を失っても**歯を生やそうとする力がある**そうですが、とある**タンパク質**がその**成長を阻止**するため、新しい歯が生えてこないそうです。現在研究中のこの薬は、その**タンパク質の働きを失わせる作用**があり、**マウスなどの動物実験では歯が生えることに成功**しているそうです。今後は人体での実験を開始して、**2030年には実用化**を視野に入れているとのこと。この薬は、生まれつき歯が生え揃わない「**先天性無歯症**」の**治療薬**をはじめとした活用を目指しているそうです。

